

「振り返り」から授業を構想する！

小学校では本年度から道徳科が全面実施されていますが、こんな困り感はありませんか…？

いつもみんな同じような振り返りになってしまいます。



これでは変容が見取れず、評価もできません。

先生は、子供がどんな振り返りを書けばねらいが達成できたと想定されますか？



あいさつは大切だということが分かりました。

これからは大きな声であいさつをしたいと思います。

道徳的諸価値について理解している？

自己の生き方について考えを深めている？

「道徳性を養うために行う道徳科における学習(解説p17-18)」をもとに、振り返りの具体を想定してみましよう

(1) 道徳的諸価値について理解する

道徳的価値が人間らしさを表すものであることに気付き、価値理解と同時に人間理解や他者理解を深める。

価値理解…道徳的価値は大切であると理解すること
 人間理解…大切ではあるがなかなか実現できない人間の弱さなども理解すること
 他者理解…実現に向けては多様な感じ方・考え方があること

(2) 自己を見つめる

(3) 物事を多面的・多角的に考える

(4) 自己の生き方について考えを深める

【ゴールイメージ(振り返りの例)】

今日の学習で、

- (1)あいさつにはみんなを明るく元気にするすごい力があることが分かりました。でも、「自分からははずかしくてできない」という意見がたくさんでした。
- (2)ぼくも、自分からあいさつをするのははずかしいです。
- (3)でも、みんなであいさつをしてクラスが明るく楽しかったらうれしいなと思いました。
- (4)だから、がんばって自分からあいさつを試みようと思いました。

想定した振り返りから授業を構想してみましよう

児童観

あいさつは大切だと思っているが、自分からあいさつをするのは難しい。

授業者の価値観

あいさつのよさを理解し、自分から進んであいさつをしようとする態度を養いたい。

ここがポイント！！

どのようにして子供の心を揺さぶるか？

子供たちは、「あいさつは大切」ということは分かっているけどできないのだな。



あいさつをすることが自分や周りにとってどのようなよさがあるのかを考えることができるような発問が必要だな。

資料観

あいさつをすることを嫌がっていたけれど自分からあいさつをするようになったわけを考えるを通して、あいさつのよさに気づくことができるようにする。

「たびに 出て」(わたしたちの道徳 小学校1・2年)

「あいさつなんていやだ」と思っていたけれど、自分からあいさつを始めたのはなぜでしょうか。



あいさつをすると島みんながもっと仲良くなれると思ったからじゃないかな。



確かに、あいさつをすると明るく楽しくなるよね。あいさつの力ってすごいんだね。これからは自分からあいさつをしたいな。



授業を構想する際には、まずはねらいを達成した子供の具体的な姿を想定してみましよう。子供がどのような思考をたどってその姿に到達するかを逆思考で考えることによって、より効果的な発問の設定が可能になります。